maabee

セキュリティノート

AIをどう使い、制作データをどう扱うか。

2026年10月版

制作と情報管理の基本方針

AIを活用したコンテンツ制作では、表現の品質とともに、お預かりする情報の取り扱いが重要です。

maabeeは、3DCG・映像・インタラクティブコンテンツ・3DGSなどの制作にAIを組み合わせています。クラウドとローカル、それぞれの制作方法を踏まえ、素材の機密性、必要な品質、予算、納期に応じた制作工程をご相談します。

このノートは、AIを含む制作工程での情報の取り扱いについて、maabeeの基本方針と、ご依頼時に確認する事項をまとめたものです。具体的な管理方法や対応範囲は、案件ごとの条件を確認し、お見積もり・契約等で合意します。

01

最初に、素材の取り扱い条件を確認します

未公開の商品画像、企画書、人物の写真、施設や設備の撮影データなど、制作素材にはさまざまな情報が含まれます。同じ画像や映像でも、公開時期や用途によって必要な管理は異なります。

制作を始める前に、外部サービスへの送信可否、共有できる範囲、公開前の取り扱い、保管期間などを確認します。機密情報や個人情報を含む素材は、その旨と利用条件を事前にお知らせください。

素材の受け渡しには、双方で合意した方法を使用します。制作に必要な情報を確認し、不要な個人情報や機密情報を含めない形でのご支給もご相談します。

02 クラウドとローカルを、工程ごとに選びます

クラウドAIは、外部事業者のサーバーへ素材や指示を送信して処理する方式です。ローカルAIは、手元の制作機器で生成処理を行う方式です。

maabeeでは、外部送信が制限される素材について、ローカルでの動画生成を含めた工程を検討できます。ただし、対応できる内容や品質、制作時間は、モデルや機器、素材の条件によって異なります。

Fireflyなどのクラウドサービスを使用する画像生成、素材の共有、編集、補正、納品は、動画の生成工程とは分けて確認します。ローカルで動画を生成する場合も、制作全体でどのサービスを使用し、どの情報を外部へ送信するかを確認することが必要です。

また、「入力情報をAIの学習に使用しない」という条件と、「外部に送信・保存しない」という条件は別です。クラウドサービスの利用は、適用される契約・プラン・設定を確認したうえで判断します。

03 制作データとアクセス権を管理します

素材や制作データは、案件に必要な担当者・協力先が扱う範囲を定め、保存先と共有先を整理することを基本とします。外部の協力先が参加する場合は、共有する情報と必要な取り扱い条件を確認します。

アカウントの管理では、利用者の識別、パスワードの使い回し防止、多要素認証の利用、不要になった共有権限の解除を基本項目とします。

ローカル生成を行う機器についても、ネットワーク接続、共有フォルダ、クラウド同期、外部からのアクセスの必要性を確認します。ローカルで処理することだけで、安全性が保証されるものではありません。

04 モデルと拡張機能を、制作環境の一部として扱います

ローカルAIの制作環境には、生成モデル、実行ソフト、拡張機能など、複数の要素が含まれます。導入元、利用条件、バージョンを把握し、必要なものを選ぶことが重要です。

特にComfyUIなどの拡張機能は、制作機器上でプログラムとして動作します。出所の確認、導入・更新の記録、不要な機能の整理を管理項目とします。公開元や人気だけを、安全性の保証として扱いません。

制作環境を変更する際は、セキュリティ上の更新の必要性と、進行中の制作への影響を確認します。再制作に備え、使用したモデルやワークフロー、設定を把握できる状態を目指します。

05

保管と削除は、再制作への備えと合わせて決めます

データの保管期間は、一律の日数で決めるのではなく、素材の機密性、契約条件、納品後の修正や再利用の必要性に応じて合意します。

確認する対象には、支給素材、制作プロジェクト、中間データ、完成データ、クラウド上の共有データ、バックアップを含めます。作業用フォルダの削除だけで、すべての保存先から削除されたと扱うことはしません。

また、ファイルの同期や別の媒体への移動は、それだけでは復旧用のバックアップになりません。バックアップは、保存先、更新頻度、過去の状態を残す方法、通常の制作環境から切り離す方法、復元確認を合わせて検討します。

保管・削除の条件を決める際には、バックアップからの削除方法と、削除後に対応できる修正・再納品の範囲も確認します。

06

問題が起きた場合の対応範囲を明確にします

不正アクセスや情報漏えいが疑われる場合は、影響の拡大防止と、調査に必要な記録の保全を優先する方針です。影響する可能性のあるお客様への連絡では、確認できた事実、未確認の事項、対応状況を分けてお伝えします。

必要に応じて、専門事業者や関係機関への相談・報告を行います。制作の継続については利用できるデータや機器、安全確認の状況を踏まえて判断します。

予備の制作環境、復旧目標、追加のバックアップ、事故時の連絡方法などに指定がある場合は、ご発注前にご相談ください。対応可否と費用・納期への影響を確認し、提供する範囲を合意します。

07

ご依頼前に、ご相談いただきたいこと

・未公開情報、個人情報、機密情報を含む素材があるか
・クラウドサービスへの送信に制限があるか
・利用を指定、または禁止しているAI・サービスがあるか
・外部の協力先との共有に条件があるか
・制作データの保管・削除期限に指定があるか
・納品後の修正、再制作、再利用を予定しているか
・セキュリティチェックシートや契約上の要件があるか

ご要望に応じて、使用するAI・サービス、外部送信する素材の範囲、保存先、共有範囲、保管・削除条件を案件ごとに整理します。確認できた内容と、個別の対応が必要な内容を分けてご説明します。

AIで何をつくるか。AIをどう使うか。

maabeeは、表現の設計と、情報の取り扱いの設計を合わせて考えます。お預かりする素材に適した制作方法を選び、必要な品質・予算・納期とともに、管理条件を確認しながら制作を進めることを基本方針とします。

本ノートは、特定のサービスや制作環境の安全性を保証するものではありません。案件に適用する具体的な条件は、個別の合意内容に基づきます。